

生後3か月の全身湿疹と夜間の掻破を経て3か月で皮膚状態が整った幼児アトピーの経過 (1歳 幼児)

症例 ID：001-01-UKd | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

生後3か月頃から湿疹が始まり、赤み、浸出、強いかゆみが増えました。寝入り時に布団へ顔をこすりつけ、なかなか眠れず泣く状態でした。

保湿剤、かゆみ止め、弱いステロイド外用薬で一時的に軽減しましたが、腹部、膝、首、顎、頬へ症状が広がり、夜間の掻破で寝具に血が付くこともありました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	小児科で弱いステロイド外用薬を使用しました。
製品名	不明です。
強度	弱いと説明されましたが、具体的な強度は不明です。
使用期間	生後3か月頃から松本医院受診前まで使用しました。
中止時期	松本医院受診時に中止しました。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
生後3か月	発症	軽い湿疹から赤み、浸出、かゆみが強くなりました。
その後	外用治療	ステロイド外用で一時的に軽減しましたが、より広い範囲へ再燃しました。
受診前	全身悪化	腹部、膝、首、顎、頬に湿疹が広がり、夜間の掻破で寝具に血が付きました。
松本医院受診後	治療開始	漢方入浴と外用処置を開始しました。
治療初期	皮膚変化	かさぶたが取れ、赤くひび割れていた頬が滑らかになりました。
治療約3か月	改善期	顔、背中、腹部の皮膚がピンク色に整いました。
記録時点	生活変化	一部のかゆみは残りましたが、食べられる食材が増えました。

4. ピーク時期

ピークは、全身の湿疹と夜間の掻破が強く、寝具に血が付き、皮膚が黒みを帯びていた時期です。

5. 困りごと

- かゆみにより寝つけず、長時間泣くことがありました。
- 夜間の掻破による出血と寝具の汚れがありました。
- 毎日の長時間入浴を継続する必要がありました。

6. 経過のまとめ

全身湿疹と夜間の掻破が続きましたが、治療開始後にかさぶたと亀裂が減り、約3か月で顔・背中・腹部の皮膚が整いました。一部のかゆみは残るものの、食べられる食材も増えました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。